資料8②

サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ【演習】



サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者指導者養成研修資料参照

本研修の内容・目的

サービス担当者会議や（自立支援）協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意識、ポイントについてグループワーク等による討議を通して、連携の在り方についてまとめを行う。



演習にあたって、ポイントの整理

できていること、できていないことの整理
基礎研修終了後から実践研修までの期間中のOJTについて振り返ります。
1）関係機関との連携について
2）相談支援専門員との連携について
3）担当者会議の開催依頼（出席）
4）サビ管・児発管から見た地域課題への対応
（自立支援協議会への報告等）
その他
5）自事業所の強み



演習の流れ

グループ発表【3分×グループ人数】
事前課題で作成したものをグループで発表する。
全体発表の準備【**10分程度**】 **計30分**

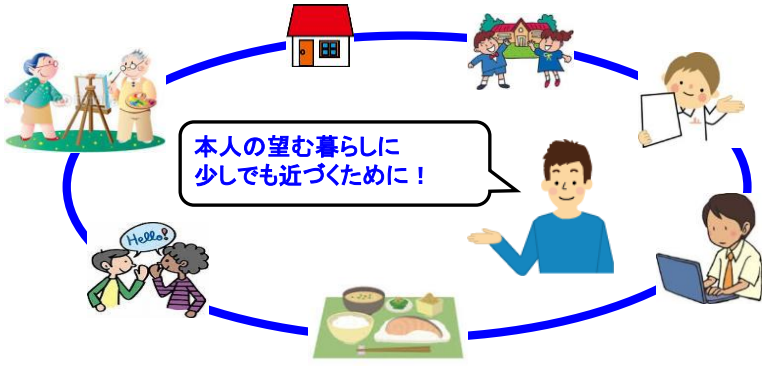


全体発表【3分×5グループ】
グループ内で出た内容を発表し、全体共有する。
Hグループ・・・関係機関との連携について
Jグループ・・・相談支援専門員との連携について
Bグループ・・・担当者会議の開催依頼（出席）
Eグループ・・・サビ管・児発管から見た地域課題への対応
Aグループ・・・自事業所の強み



演習のまとめ

あなたの事業所も地域の中の1つの大切な社会資源です。
自事業所だけで解決できないことは、抱え込まず、相談支援専門員との共有、協議会の活用など、関係機関で連携できる体制を作っていきましょう。
（できることから始めてみましょう。）



研修のまとめ

○本人中心の個別支援計画
　本人の意思や想いが根拠になる。
　→意思決定支援の大切さ

○サービス提供職員の手本として
　サビ児管として、「支援」と「かかわり」を確認していますか？

○連携の大切さを考える
　自分の限界・事業所の限界・福祉の限界は、当事者の限界？

○事業所の良いチームと良い組織
　事業所で良いチームを作り、組織として活性化できるような努力を！